

宮城県における化学農薬削減への取り組み ～園芸作物の場合～

増田俊雄 氏

(宮城県農業・園芸総合研究所)

日時：2010年12月15日(水) 16:30頃～18:00頃

会場：明治大学生田キャンパス 中央校舎 0410教室

出来れば化学農薬を使わずに作物を育てたい、生産者の誰もがそう思っています。しかし、実際の圃場には数多くの病害虫が発生しており、農薬を使わずに売れる作物を栽培するのは難しいでしょう。化学農薬の代わりになりうる効果的な防除法があれば…生産現場の研究者には、そんな技術の開発が求められています。

今回のセミナーで講演して頂く増田氏は、宮城県の園芸作物で問題となる害虫を対象として、化学農薬に代わる防除技術の開発に取り組んでいらっしゃいます。昆虫病原性糸状菌を利用した生物的防除や光を利用した物理的防除、リビングマルチによる害虫密度の抑制など、手法は実に多岐に渡っています。また、応用昆虫学研究室でも研究対象にしているハウレンソウケナガコナダニは宮城県でも猛威を振るっており、加害様式の解明と防除技術の開発が進められています。難防除害虫に立ち向かう同志として、本当に頼りがいのある先輩です。興味のある方は、是非ご参集下さい。

問い合わせ：

農学部 応用昆虫学研究室 糸山享

(5号館208、内線7810)